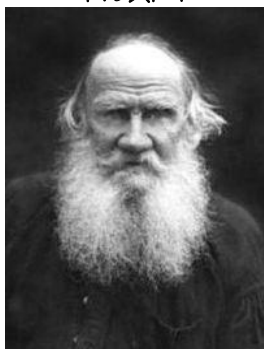


トルストイ



小西 増太郎



講演会

トルストイの直弟子 といわれた日本人

講師 吉橋 泰男

ロシアの文豪トルストイと深く付き合った日本人がいた。その名は小西増太郎という。一般には徳富兄弟のトルストイ訪問はよく知られているが、実はこの二人それぞれにトルストイへの紹介状を書いたのは小西増太郎だった。小西はモスクワ大学留学中、『老子道德経』をトルストイと何か月もかけてロシア語に翻訳した。この時トルストイ 64 歳、小西 31 歳。ここに因らずも師弟関係が生まれた。

帰国後、トルストイから正教徒である小西に赤と青のラインが一杯ひかれた聖書が送られてきた。ラインのないところは読むに値せずと書かれ、小西に対するトルストイの愛情あふれる贈物だった。同時に後年ロシア正教会から破門されたトルストイの宗教観が窺われるものでもあった。

小西はその後ロシアを再訪し、1910年7月ヤースナヤ・ポリャーナでトルストイと歓談した。家出事件とそれに続く死は僅かその数か月後のことだった。小西は葬儀に立ち会った唯一の日本人といわれている。

トルストイの3女アレキサンドラが日本に2年間住んだこともあまり知られていない。

今回は文豪との親密な交流から小西が見たトルストイを、実孫の吉橋泰男氏に語っていただきます。

吉橋 泰男(よしはし やすお)氏:小西増太郎の次女眞喜子の長男として1947年に生まれる。中央大学法学部卒。週刊『読書人』編集部勤務。小杉隆元代議士(文部大臣)の秘書となり主に行政との折衝に当たる。2010年、小西増太郎著『トルストイを語る』の再刊に関わる。今年11月、『回想 祖父小西増太郎』(仮題)の刊行が予定されている。

日時 2016年12月10日(土) 14:00~16:00(開場 13:30)

会場 日本記者クラブCホール 日本プレスセンタービル10階
千代田区内幸町2-2-1 03-3503-2721

アクセス 東京メトロ千代田線/日比谷線霞ヶ関駅C4出口3分 丸の内線霞ヶ関駅B2出口7分
都営三田線内幸町駅A7出口3分 JR新橋駅日比谷口(SL広場側)15分

会費 会員 2,500円 一般 3,000円 ロシア人他 2,000円
会員学生 1,500円 一般学生 1,800円

申込方法 会員/一般/学生等の別・氏名・電話・FAX・E-mail等明記の上、FAX・E-mail・郵便
いずれかの方法で協会事務局までお申し込みください。満員(50名)になり次第締め切
りとさせていただきますので、お早めにお申し込みください。

主催 NPO 日口交流協会 後援 日本トルストイ協会

〒106-0041 東京都港区麻布台3-4-14 麻布台マンション401

TEL:03-5563-0626 FAX:03-5563-0752 E-mail:nichiro@nichiro.org

ご提供いただいた個人情報はこの催事の連絡用以外に使用することはありません。